

|                      |      |
|----------------------|------|
| 悠久のふるさと飯山市懇談会のお知らせ   | 2ページ |
| 人形館建設に向け建設委員会が発足     | 3    |
| 「いイヤマ灯籠まつり」イベント参加者募集 | 5    |
| 北陸新幹線飯山駅高架橋工事始まる     | 6    |
| 飯山市の財政事情             | 7    |
| 「チャレンジ体力測定」参加者募集     | 8    |
| 内山紙作りで春の叙勲 中澤忠夫さん    | 9    |
| 飯山市のこみの現状            | 10   |

各地区の皆さんの声をお聞かせください

## 「悠久のふるさと飯山市懇談会」開催

市民の皆さんと協働し飯山らしいまちづくりを進めるため、今年も各地区で「悠久のふるさと飯山市懇談会」を開催します。

懇談会では、市長をはじめ理事者などからの今年度事業等の説明や、地区の皆さんの声を直接お聞きする意見交換を予定しています。

お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきます、これからの飯山市づくりを進めていきたいと考えていますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。



### 「悠久のふるさと 飯山市懇談会」日程

- 第1部 「飯山市第4次総合計画後期基本計画」の説明、今年度の市の取り組みについて など
- 第2部 市長との意見交換

| 日時         | 地区    | 会場             |
|------------|-------|----------------|
| 7月 1日 (火)  | 午後7時～ | 外様 外様地区活性化センター |
| 7月 3日 (木)  | 午後7時～ | 太田 太田地区活性化センター |
| 7月 16日 (水) | 午後7時～ | 秋津 秋津地区活性化センター |
| 7月 22日 (火) | 午後7時～ | 柳原 柳原地区活性化センター |
| 7月 25日 (金) | 午後7時～ | 瑞穂 瑞穂地区活性化センター |
| 7月 28日 (月) | 午後7時～ | 常盤 常盤地区活性化センター |
| 7月 30日 (水) | 午後7時～ | 木島 木島地区活性化センター |
| 8月 4日 (月)  | 午後7時～ | 飯山 飯山市公民館      |
| 8月 8日 (金)  | 午後7時～ | 岡山 岡山地区活性化センター |
| 8月 20日 (水) | 午後2時～ | 富倉 富倉地区活性化センター |

## 市民の皆さんの意見を取り入れた建設計画を

### 人形館建設に向け建設委員会が発足

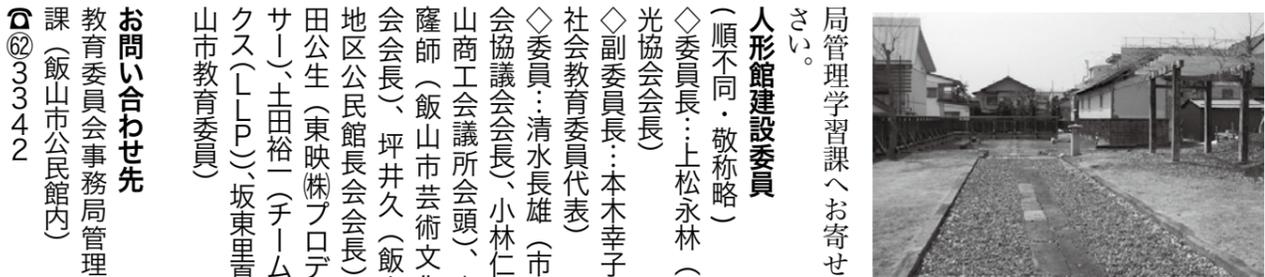
昨年の6月定例会市議会で、市民からの要望が多く全国的にも有名な市内在住の創作人形作家高橋まゆみさんの作品を展示するための人形館の建設について提言があり、これを受け市では内部に委員会を設置し施設の必要性について検討してきました。その結果、高橋まゆみさんの創作人形は、「日本のふるさと」として情報発信している飯山で創作されたものであることや、新幹線開通を控え市の活性化と回遊性あるまちづくりの拠点施設として魅力的なことなどから、人形館の設置に向け計画を進めて

いくこととし、建設に関する経費を予算に計上いたしました。

市では建設にあたり、多くの市民の皆さんからご意見をいただき市民交流や地域振興の推進を図るため、建設委員会を組織し実施することといたしました。

5月28日には市役所で第一回建設委員会を開催し、石田市長から9名の委員に委嘱書が渡され、委員長に上松永林さん、副委員長に本木幸子さんが就任されました。また人形館の建設位置については、交通の利便性、冬期間の利用のしやすさ、既存駐車場などが整備されていること、まちづくりとの関連性などから、愛宕町の「雪と寺の町公園」内と決定しました。

今後、平成22年4月の開館に向け、施設の基本的な考え方、規模や内容、運営方法などが検討されていく予定です。ご意見等がありましたら、教育委員会事務局



△「雪と寺の町公園」内の建設予定地

局管理学習課へお寄せください。

### 人形館建設委員

- (順不同・敬称略)
- ◆委員長：上松永林 (市観光協会会長)
- ◆副委員長：本木幸子 (市社会教育委員代表)
- ◆委員：清水長雄 (市区長会協議会会長)、小林仁 (飯山商工会議所会頭)、吉越隆師 (飯山市芸術文化協会会長)、坪井久 (飯山市地区公民館長会会長)、畑田公生 (東映プロデューサー)、土田裕一 (チームワーカー)、坂東里夏 (飯山市教育委員)

お問い合わせ先  
教育委員会事務局管理学習課 (飯山市公民館内)  
☎0269-3342

### 農業政策などについて広く懇談

## 石田市長が若林農林水産大臣と意見交換

5月28日、石田市長は東京の農林水産省を訪問し、若林正俊農林水産大臣と懇談を行いました。

懇談ではまず、このほど飯山市がモデル地域の1つとして選ばれた農林水産省などが実施する小学生の農山漁村での宿泊体験事



業「子ども農山漁村交流プロジェクト」や、農業振興のための機械導入の補助制度「産地生産拡大支援プロジェクト」の採択について石田市長がお礼を述べました。

また、世界的な問題となっている食糧危機についても意見交換。石田市長は米の生産調整制度や、米の最低輸入(ミニマムアクセス米)などに触れ、おいしい米を育てるためにさまざまな努力を重ねている農家の現状を説明し、農業政策の見直しを訴えました。その他、学校給食をはじめとした米の消費拡大対策についてなど、農業政策全般について広く意見を交わしました。

### 市長の

## 悠久のふるさとづくり

飯山市長 石田正人



梅雨期が近づいて前線が毎日に活発に動いています。気象庁では、今年の台風予想は難しい、しかし発生数が多いのではないかとされており、地球温暖化が各所にひずみをもたらしているのではないかと感じています。

先日、佐渡島の海にも異常が発生していると知人から便りがありました。近年は魚が獲れなくなってきたり、網にかかる魚の中には本来沖縄周辺ですむ魚も見られるそうです。これは日本海の温度が異常に高くなっているという表れであり、この海温の上昇により日本海側では今後、大雨の予想もされています。

7月に行われる北海道洞爺湖サミットでは、地球温暖化対策を検討し、温暖化による食料危機問題も話し合われると報道されています。しかし、私たち百姓から言わせれば、農業、特に水田農業の多目的機能は計り知れない大きな効果があり、地球温暖化の抑止力として、お金に換算できない価値があるはずだと私は思うのです。

水田で一粒でも多くと欠株補植している百姓の姿。田を作っても採算に合わないことがわかっていながら、先祖から与えられた田畑を荒らさないようにと頑張っている姿。これはまさに「農魂」としか表現できない姿であります。先ごろ私は、若林農林水産大臣と会って、飯山の農業の現状を報告し、減反政策の緩和を訴えてきました。世界が食糧不足の現在、農業者を守ってこそ将来に安心・安全が確立できる最大の道理と話し合ってきたところです。



△忘れかけられた故郷の情景を思い出させてくれる高橋まゆみさんの創作人形作品。